

新潟市

副市長 **朝妻 博 様**

◎子育てにやさしい街にするには◎

4月25日に開催された秋葉区自治協議会にて

副市長と自治協委員の意見交換会が行われました。

その中で、副市長より秋葉区自治協議会委員に質問がありました。

『秋葉区は「育ちの森」もあって子育ての満足度が高いと思っていたが、実際は

そうではなかったことについて「どうしてだと思いますか?』と問われ

放課後児童クラブを運営する特定非営利活動法人ディンプルアイランドの佐々木が

代表してお答えすることになりました。

突然の質問に児童クラブの減免がなかったことや、児童館がないことなどをお話ししましたが

思ったようなお答えができず気構えがしっかりしていなかったと反省いたしました。

※児童クラブスタッフや子育て中の方、また同じく自治協委員の渡邊彩さんから情報
を得ましたのでご覧ください。

☆子育て満足度が低い点について気づいたところ☆

○1.0歳から17歳までの子どもたちの声がまちづくりに反映されにくい

状態になっている。

○2.3世代同居を前提とした支援が多く、核家族・移住者・シングル世帯への支援が
乏しい可能性がある。

○早期に保育所の定員が埋まり、希望する園への入園が難しい。あるいは育休延長
せざる得ない状況が続いている。

○それぞれの年代の子どもたちと、その親の声を拾う場と政策に反映させる仕組み
づくりが必要ではないか。

○平地の広い公園がない。十分な駐車場もある児童広場が欲しい。

秋葉山があるのでは?・・・十分な駐車スペースがなく斜面や階段で小さな子や高齢者には向かない

のんびり、広々、明るく、トイレがきれいな公園が欲しい。

近隣の江南区・南区・西区まで行ってしまう。

○通学路に歩道がない箇所があり心配。

○図書館や公民館など学習スペースはどこもいっぱい、中高生が勉強に使う
場所が欲しい。

○児童館がなく、無料で子どもだけで安全に遊ぶ場所がない。

※次のページへ

- スーパーマーケットはあるが、大型店舗がなく雨天の際に行く場所がない。
- ここに行けば何でも揃う！！ようなお店がない。
- 商店街が活気がない。歩いて楽しい場所がない。
- 駅の近くが栄えてない。駅の近くでも暗くて帰り道が怖い。
- 学校に行けない児童に関する居場所、相談場所などがわかりやすくなっていると相談しやすい。
- 幼児だけでなく、小学生の子どもに関するちょっとした悩み事を聞いてくれる場所が欲しい。学校は18：00までに電話しないと繋がらず、連絡帳では伝えたくない。仕事を休まずに相談できる場所が欲しい。
- いつでも気軽に相談できる子育て相談窓口が欲しい。
保健師さんに離乳食や成長のことなど相談したい。

以上の事から、ハード面・ソフト面、両方に満足していない部分があると考えられます。ハード面については実行がなかなか難しい面があると思われそうですが、人によるサポートをより得たい また聞いてほしいと考えている方々も多く。今あるサービスの向上や情報収集の方法。相談方法の告知について時代に沿ったものにしていく必要があると考えます。

今すぐ実行できる子育て支援。より子育てにやさしい街を目指すには！

たくさんありますが・・・以下の項目を実行します。

児童クラブとして行うことは・・・幼いころのあたたかな思い出は人間形成の基盤。
 仲間作り・・・こども・親・職員・地域住民など
 育ち合う環境作り・・・互いに刺激しあい高めあえる環境をつくる。
 地域に愛される施設作り・・・地域へ飛び出し地域の皆さんにこどもたちのパワーを届ける。
 (小さな活動から行ってます。慰問・カレンダー作成・配布・ゴミ拾い活動など)
 地域の中での子育て(資源の有効活用)・・・地域の行事や祭りへの参加。
 公園や体育館、近隣の施設を使い活動の場を広げる
 保護者の方がいつでも相談できるような体制づくり。

秋葉区自治協議会 自治協委員

特定非営利活動法人ディンプルアイランド
 佐々木 美佳子